

令和元年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 准教授 豊島 雅幸

取組状況	
教育	<p>1. 基礎学力の徹底 1,2学年においては、演習問題を反復練習させることで基礎分野の徹底を図った。 量を解かせるよりも、反復させることで解き方への理解促進を促すことで、理解度の促進が得られた。</p> <p>2. 授業への動画導入 1学年の実験手順をYouTube(https://www.youtube.com/watch?v=fXWwmT6Sjlc)にあげたところ、実験への理解促進や手順のミス減少という結果が得られた。</p> <p>3. 高分子合成実験の授業導入 ナイロン6,6の合成およびIR解析、末端基定量法を用いた分子量測定を一連の流れ を授業展開することで、座学で分かりにくい部分の理解促進が得られた。</p> <p>2. 糖誘導体合成の指導 5学年の学生に、燃焼材料として砂糖以外の物質を質問されたことから、アセチル保護した糖およびタンパク質を提案した。 マンノースのアセチル保護合成およびポリ-γ-グルタミン酸の抽出を指導した。</p> <p>糖誘導体両親媒性物質の合成 ガソリン中の水抜き剤開発として両親媒性物質の合成を行い、糖誘導体を精製した。</p>
研究	
社会貢献	<p>出前授業 「身近なものから生分解性プラスチックを取り出そう」 2019/12/13 世田谷区立玉川中学校で実施</p>